

## 英国でダイヤモンド・ジュビリー挙行 ～エリザベス女王即位 60 周年記念式典～

ロンドン事務所

英国では、6月初旬に女王エリザベス2世の即位 60 周年を祝う「ダイヤモンド・ジュビリー」の記念式典が 4 日間にわたり開催されました。映画「英国王のスピーチ」で知られる父ジョージ 6 世の崩御に伴い 1952 年 2 月 6 日に 25 歳の若さで即位した女王は、喪が明けた翌年の 6 月 2 日にウェストミンスター寺院で戴冠式を行っています。今年は、通常 5 月末にあるバンク・ホリデーを 6 月 4 日（月）に移動させ、5 日（火）を特別にバンク・ホリデーとすることで 2 日（土）から 4 日間を通して休日とし、国をあげて女王の即位 60 周年を祝福しました。

女王はすでに 2 月から国内各地をご訪問されており、各地での歓迎の様子はメディアで頻繁に取り上げられていました。デパートや土産物店、観光案内所などの店頭には、3 月頃から女王の紋章やバッキンガム宮殿、王冠など王室色満載の記念グッズが並び始め、リージェント・ストリートやオックスフォード・ストリートなどロンドン市内の目抜き通りには先月から数多くのユニオン・ジャックが掲出されています。7 月から始まるオリンピック・スタジアムへの観客輸送に期待がかかる地下鉄ジュビリー線には子供たちの作品の中から選ばれた公式ロゴのデザインが施された車両も登場するなど、国中に祝賀の機運があらわれていました。



公式ロゴで装飾された地下鉄ジュビリー線の車両

ダイヤモンド・ジュビリーの初日は、競馬好きで知られるエリザベス女王のエプソム・ダービーの観覧から始まりました。このダービーは英国のクラシック三冠の一つで、ユニークなデザインの帽子に色とりどりに着飾った淑女やシルクハットにモーニング姿の紳士達で賑わいました。

2 日目の午後には、世界各国から集まった大小千隻を超える船やボートがテムズ川を下る水上パレードが行われました。女王も王室専用船に乗り込みタワー・ブリッジまで約 10 キロにわたり英国国旗などで装飾された船団を先導しました。小雨にもかかわらず世紀の大スペクタクルを一目見ようと小旗を手にテムズ川河畔に詰めかけた大勢の市民や観光客からは、大きな拍手と歓声が上がっていました。



女王が乗船したスピリット・オブ・チャートウェル号



水上パレードを伝えるテムズ川河畔のスクリーン

3日目の午後7時半からは、バッキンガム宮殿前の特設ステージでコンサートが開催されました。ポップシンガーのロビー・ウィリアムズに始まりクリフ・リチャード、トム・ジョーンズ、エルトン・ジョン、スティービー・ワンダーなど世界的なミュージシャンが出演し、最後はポール・マッカートニーが締めくくりました。コンサートと並行して午後10時頃から国内各地でBeacon（かがり火）が灯され、コンサートが終了した午後10時半過ぎに女王自らがバッキンガム宮殿正面に用意されたダイヤモンドの形をしたBeaconに点灯し、この日のクライマックスを迎えました。英国ではBeaconを連絡手段として使っていたことから、今でも人々のつながりのシンボルとされており、エリザベス女王即位50周年のゴールデン・ジュビリーや昨年のウィリアム王子の結婚式など歴史的に重要な式典の際にも灯されています。

最終日には、エリザベス女王が王室メンバーとともにセント・ポール大聖堂の感謝祭に出席後、ウェストミンスター宮殿（国会議事堂）からトラファルガー広場を抜けてバッキンガム宮殿まで馬車によるパレードが行われました。バッキンガム宮殿では60発の祝砲が打ち上げられ、英空軍による儀礼飛行が4日間の祝賀行事の最後を華やかに締めくくりました。



バッキンガム宮殿のバルコニーから手を振る女王  
(BBCニュースより)

現在86歳の女王は、英国史上最高齢の君主でありながら、国民から送られる手紙に毎日目を通し返信もされており、バッキンガム宮殿の夏の期間の一般公開を進めるなど「開かれた王室」に向けた姿勢が国民から高く評価され絶大な人気があります。母であるエリザベス皇太后は101歳と長寿であったことから、エリザベス女王も国民の幸福を願い、英国のさらなる繁栄に向けて末永く統治していかれることでしょう。

(大野次長 愛知県派遣)